

かわらばん

第32号 2020年6月8日



新型コロナを「指定感染症」から外し、医療機関が主体の検査・治療体制の構築を！……伊東秀子
娘からのイタリア便り——

新型コロナウィルス (Covid-19) 感染症が蔓延したイタリアの暮らしから……横澤喜久子
＜投稿集・コロナ禍災厄のなかにあっても＞ 憲法九条新聞意見広告 今年もやりました!! ……石垣鈴江
2冊の本を通して今考えていること……竹内希衣子
朝顔を育てる……伊藤充子

心に残る言葉～NHKBS1スペシャル「ウイルスVS人類3 スペイン風邪 100年前の教訓」を観て……村山千津子
＜南北朝鮮とわたし＞3 知ることから始める～朴 和美著『自分時間を生きる』を読んで……三井ふみよ

一票で変える女たちの会・Facebook から

新型コロナウィルス感染症への政権の対応が後手後手となっており、検査能力や機器、集中治療室の不足、医療者用のマスクや防護服不足が解消されないまま今に至っている。経済状況も私たちの生活も先が見えないままにもかかわらず安倍首相は「日本モデル」が成功と胸をはり、失笑をかわっている。各国で、日本で、日々状況が動き変わるなか、個々が冷静に事態をみきわめ、できる限りの防衛策をとるしかないのが実情。そのためにも一月から今日までの状況を振り返ることに意義がある。その一助としてある新聞に投稿した伊東秀子弁護士の問題提起を紹介したい。

新型コロナを「指定感染症」から外し、 医療機関が主体の 検査・治療体制の構築を！

弁護士 伊東 秀子（札幌）

新型コロナに対する初動対応の問題
点と医療現場の現状

1. 安倍総理は、本年一月二八日、
新型コロナを指定感染症に指定し
た。「指定感染症」とは感染症予防
法で定められた感染症類型の一つであ
り、既知の感染症で緊急の対応が必
要と判断される場合、「一年間とい
う限定付きで政令で指定しⅠⅡⅢ類
の感染症に準じた対応（措置）が義

務づけられる感染症」である。新型
コロナが「指定感染症」になったた
め、感染症予防法上、全ての医療措
置が国と都道府県等の行政府の決
定下に置かれ、感染者の入院は指
定病院に限られ、都道府県の保健
所（全国で本所が四六九カ所、支所
が一二〇カ所）を介してPCR検査
と診察を受ける体制となった。とこ
ろが一九九四年に保健所数が半減さ
れたため現在の保健所数とその人員

ではマンパワーが絶対的に不足し、大量に持ち込まれる相談とPCR検査に対応できない状況が生じた。

また政府は、指定病院の病床数が少ないことから（日本全体で一七五八床）、「指定病院の医療崩壊を阻止するため」にPCR検査を極端に抑制し、検査を重症者のみに制限して軽症者と無症状態の検査追跡を行わず、重傷者のクラスター解析に重点を置いてきた。そして二月二五日、感染増加のスピードを抑制するため徹底したクラスター対策を講じるとの基本方針の下、「保健所の帰国者・接触者相談センターが全ての相談を受け、保健所長が外来診療へ誘導し、感染が疑われる者だけPCR検査を行い、陽性者には都道府県が指定病院に入院措置する」と決定した。

2. ところが、この政府の方策により、PCR検査が受けられない軽症者・無症状態者が病院の院内感染と経路不明の市中感染を広げ、現場の医師や看護師は心身ともに疲弊し限界状態に陥っている。上記の方策ではコントロールできない程感染が拡大し、五月一二日現在の感染者数は約

一六〇〇〇人、死者数は六七〇人となり、第二波到来の北海道札幌でも感染が止まらない。一方、政府は、四月七日に全国に緊急事態宣言を出して「国民の八割が外出自粛すれば一カ月でウイルスの拡大は収束する」としていたが、五月四日緊急事態は延長され、いつ完全解除になるのか先が見通せない状況にある。この現状は、政府の初動対応の見通しが甘く、ウイルスの封じ込めに失敗したことを示している。

そこで、政府は初動対応の反省の上に立つて、「出口」を早期に見極めるためにも、PCR検査数を増加させて、希望者全員に対する「検査と隔離」を徹底する新しい施策を示すべきである。国民に対する外出自粛の要請や軽症者の自宅・ホテルでの待機等「その場しのぎ」の対応では「出口」は見えてこない。

3. また政府は都道府県を通じて、指定病院の医療崩壊を防ぐために指定外の中核病院に新型コロナ患者の受入れを要請し、ひつ迫する医療現場の状態と許認可権を持つ行政の要請にこたえるために医療機関側は応諾せざるを得ない状況という。一方、

医療機関側は、感染症対応の手術室や病床の不足から設備の増設とマンパワーの増強、一般患者の受診ができないための経営の赤字と言う財政上の負担を負い、しかも、行政の監督下で医療措置決定上の制約を受け、その矛盾は深い。

新型コロナウイルスの「指定感染症」を解除する場合に必要な措置

1. こうした現状を打開するために政府が早急になすべきことは何か？指定感染症に対する医療措置は、「保健所を介した局所的な患者の把握と隔離・治療」という行政主導の一元的システムである。しかし、新型コロナウイルスのように無症状態と軽症患者が多く、広範囲にわたる感染の把握と対応が必要な場合には、必ずしもマッチしていない。指定感染症に対する医療措置を決定するのは行政機関であり、患者の受診・検査の全てに保健所が介入するため、多くの者の検査と追跡が困難だからである。しかも、日本では保健所数と人員が極端に不足しているため、検査を受けられない軽症者や無症状態者が市中感染・家庭内感染を拡大してきた。

こうした中で感染拡大防止のためには「検査と隔離」を徹底することが重要となるが、そのためには、どうしても新型コロナウイルスを「指定感染症」から外す必要が出てくる。そうすれば医療者の判断により医療措置が決定でき、多くの市中病院が新型コロナ患者の受診・治療に当たれることになり、医療従事者の負担の分散が可能になるからである。

2. このように、新型コロナウイルスを指定感染症から外す場合に必要となる措置は、診察に当る医療機関に対する財政的補助と患者の診療費の公費負担の措置である。感染の疑いのある者が安心して早急に診察・検査・治療を受けられるには、医療機関に対する財政的補助と患者の治療費の公費負担は必須である。政府は新型コロナウイルスの感染拡大により国民の生命と健康に重大な影響が出るとして早々に指定感染症に指定したが、それが現実となった今、患者の命と健康を守るために、医療者の医療判断を中心とする施策に転換するべきである。感染症予防法上、感染症患者を診療した医療者は行政機関への報告義務があるから、政府はその報告を

集約して国民に周知させる一方で、市中病院が総力を挙げて感染者の医療に従事できる体制を構築するために、新型コロナウイルスに対する指定感染症の「指定」を解いて、今後に備えるべきであると考える。

二〇二〇年五月一二日記



娘からのイタリア便り
新型コロナウイルス(Covid-19)
感染症が蔓延したイタリアの暮ら
しから

横澤喜久子

二〇二〇年一月初めに中国武漢で新型コロナウイルス検出の発表以来、日本では二月初旬に武漢からの観光客を乗せたバスの運転手、ガイドが感染というニュースが流れました。当時はこのウイルスがこれ程までに世界中の人々のいのち、生活を襲い、恐怖の世界に陥れられるとは想像できませんでした。世界の感染者約五八二万人、死者は約三六・五万人(二〇二〇年五月二九日現在)、さらに中南米、中東、アジア、アフリカへの感染拡大に加え、第二波、第三波が懸念されます。

自然界が生み出した直径一マイクロメートルにも満たない未知の微小なウイルスが全世界にこのように多大な衝撃とダメージを及ぼしています。科学、科学技術が著しい勢いで進み、便利に、何でも手に入りそうに思われる今日に、すべての人々が

家に籠り、鎮静化を待つしかないことになりました。こうした状況に本当に驚くと同時に、改めて生活を見直し、自然界に生きる私たち人類のあり方、生き方を問われている気がしました。

日本でも三月中旬以降から感染者、死者が急増し、クラスター、オーバーシュート、ロックダウン、パンデミック等といきなり聞きなれないカタカナ文字を頻繁に耳にし、PCR検査についても私は初めて知りました。この未知のCovid19に対して症状、感染検査法、経路、特性などのウイルス説明から医療、治療薬、ワクチン等と専門家の方々の必死な闘いの真つ只中にあります。

私たちの生活はステイホームと外出自粛し、家に閉じ籠り、休業、学校等の閉鎖で一変し、多くの人々は経済的支援を求めています。今、私たちにできることは何か、と感染拡大を防ぐためにマスクをつけ、手洗い、消毒をしながら誰もが不安な日々を過ごしています。五月に入つて、段階的に緊急事態宣言解除も徐々に出る一方、感染再拡大の不安を抱えながら、対策が急がれている状況です。

長女から送られてくる日々の生活情報からイタリアで一気に新型コロナウイルス感染症拡大し、厳しいロックダウン(都市封鎖)の中で暮らす様子が伝わってきました。娘は地中海に浮かぶサルデーニャ島南部の州都カリアリ市にイタリアン夫と中一、小四の息子と約二〇年間暮らしています。

サルデーニャ島はシシリ島に次ぐ地中海で二番目の大きさ、日本の四国くらいです。海の美しい、大きな太陽の恵み、自然の営みがそのまま守られ、のんびりとしたおだやかなところですよ。島の北部にはイタリア本土、ヨーロッパ、世界から富裕層の別荘地が多くあります。

一気に感染爆発したイタリア

イタリアでは一月一五日には武漢出身観光客の感染確認、三〇日には地中海クルーズ船六、〇〇〇人乗客のうち中国人乗客二名に熱と咳で検査と報道されました。二月二一日朝は感染者三名、北部ベネト州で初の死者、二日後の二三日には感染者七六人、死者二人と急増し、大騒ぎ

となりました。

ヴェネツィアでは二月初めから二週間のカーニバル開催、世界中から毎年三〇〇万人観光客でいっぱいとのことですが、今年は期間途中の二三日に中止されました。三月四日に全国学校閉鎖、北イタリアでは閉鎖のために軍の出動準備が始まり、町から出てはいけなさとされました。一、六〇〇万人が住むミラノ地域を封鎖する措置が取られたのは感染者数約六、〇〇〇人に、死者が二三〇人を超えた時といえます。この八日のロックダウン、移動禁止令の前二、三日間に感染を避けようと南へ向かって多く逃げ込み、その後に北部閉鎖、さらにミラノ、ヴェネツィアも封鎖されました。

感染者〇だったサルデーニャ島ではこの北部封鎖から島に逃げてきた人々を通して、コロナ感染が始まっ



サルデーニャ島

たのではないかとわれています。

そして、一〇日に全土を対象にロックダウン、感染者一万人、死者一千人を超えて、一気に感染爆発です。四月にさらに増え続け、五月下旬にはイタリア全土では感染者約二三万人、死者三万三千人、サルデーニャ州でも感染者一、三五六人、死者一二九人を超えました（五月二八日現在）。

ロックダウンの中の暮らし

不要不急の外出禁止

サルデーニャ島でも著しい勢いで感染拡大、ロックダウン後の一週間で感染者が一〇〇人超えました。市長の「散歩もやめて欲しい！」の声にもかかわらず、呑気に外出し放題の人もちらほらと。人口が少なく、外出すればすぐに知り合いとすれ違ってしまうような街です。近所のテニスコートには毎日どこからか車で集まり、楽しそうな声でプレーしています。こちらの人々は大らかかというか、陽気で、ルールを守らない人が多いようです。北イタリアで感染が広まり始めた時期に入っても島から本土に大きな会議やイベントが

あると出かけ、また、島から北へ出かけた人達が続々と戻っての感染が続出しているようです。加えて、島に逃げてきた北イタリア人は自宅待機するでもなく、街を普通に歩き回っており、島民は感染拡大を心配。

武装した警官や兵隊が市民を見張る社会

こちらの人々は太らかというのか、多くの人がルールを守らないためか、日に日に厳しいルールになっていきます。街では警察が待機し、取り締まりがあり、罰金制です。不要不急の外出かどうか家でプリントした証明書を持つて出るそうです。犬の散歩も、家の玄関から二五〇メートル以内。買い物はしてもよいが、生活必需品のみ。カート一つに付き一人で、買い占め禁止です。夫婦連れ、子連れの買い物もダメで、ネットショッピングは時間がかかり、レッドゾーンには配達できず、戻ってきます。

警察が待機している

美容院をはじめ自営業ではヤミ営業、罰金覚悟での商売もあるようです。人のほとんどいないカリアリの

街を当局はドローンやヘリコプターで出歩いている人をチェックしています。街中は歩いている人より警察官の方が多いと買い物に出たイタリア夫は言っていました。四月に入り、島は鎖国状態で人の動きはほとんどないはずなのに、感染者はまだ増えており、五月一日まで外出禁止の延長が発表されました。普段は全くマスクをつけることのないこの社会で「買い物行く人は必ずマスクを着用すること、販売する人はマスクと手袋着用が義務」となりましたが、街にはマスクを売っていない。こちらでも結構自作しているとのことでした。

医療現場では

医療現場では重症者も多く、すでに医療崩壊のシナリオも想定され始めています。娘の義父も医師で、友人、知人の中に病院、薬局等での医療関係者が多く、とても心配な日々です（医師や看護婦の病院での感染が多い）。

「医療現場は報道よりもみなさんが思っているよりも、現実是非常に厳しいです。近い将来、本来助けられるはずの命が助けられなくなる事

態になりそうだと感じています。このまま感染が拡大すれば、トリアージ（病状に合わせて治療の順番を決める）にシフトしなければなりません。だから、外出を控えてください、人と会わないでください。感染を食い止める方法はありません。生きていくための最低限の外出だけにしてください。時間がもうありません」とイタリア中に流れました。

子どもたちの毎日

イタリア全土の学校が一斉閉鎖、この小中学校もネット経由で授業サポートが行われました。小四の子にオンラインで英会話の宿題が届き、グループのパートナーと練習、録画送付で提出。アート授業ではゴッホのある作品が送られ、この絵を模写し、さらに好きなように加筆OKで送付提出。音楽では先生の新しい歌を本人が何度も練習、成果の録画提出と。中一、小四の子がそれぞれヘッドフォンをつけ、タブレットに向かっての宿題、授業です。

次週からはライブでオンライン授業が始まりました。初期設定が大変で、いきなり本番となり、パソコンやタブレットがない家庭や高速ネッ

ト回線がない家庭もあるので政府が今、対応し、学校経由でリクエストする形で提供します。おそらくこのまま学校行かずに学年終了&卒業でしょう。

学校は毎年六月初めに終わり、九月中旬に新学期となります。こうしたオンライン授業でこの二カ月間は家での受講、家に籠つての生活となり、学習の場が自宅に移り、親の負担は大変なようです。家という限られた生活の場で子どもは多くの時間をパソコン相手にそれぞれゲーム、youtubeと異様な世界に入って独り言、奇声、一人笑いとのこと。

親は料理、ケーキ作り等と楽しみづくり、さらに室内でのミニ卓球、ミニ・ビリヤード、トレーニング器具など工夫し、少しでも動いて遊べることを探すしかない、とからだを持て余す子どもたちを相手に苦労しています。この二カ月間で子どもは毎日のオンライン授業と宿題の合間に、長男はYoutuberへの第一歩を踏み出し、パソコン、iPad、スマホを駆使し、いろいろ加工してアップロードを頑張っています。

段階的に解除

イタリアは禁止令から二カ月ほど経過、外出禁止令の期限が五月三日に迫って、徐々に段階的に解除されます。州によってはまだまだ解除できないところもあるようです。まず四日からは近親者には会ってもよいとのこと、この国の人々はなかなか足並み揃わず、勝手なことをするので、ルールは細かく発表されています。

今日から家から二〇〇メートル以上離れてお散歩してもよくなりました。居住している市区町村内で緊急を要する場合のみ移動可能でしたが、同じ町に住んでいなくても近親者に会いに出掛けてもよくなるとか。近親者でも同居してない場合、ハグ、キスは厳禁。マスクしてソーシャルディスタンスは保たなくてはなりません。家族・近親者の中には「婚約者やステディな関係の恋人も含まれる（すごく細かい、イタリアらしい!）」のだそうです。

イタリアで感染拡大した背景

この新型コロナウイルス感染者、死者はイタリアが世界の中でもトップグループに入り、厳しい状況です。

少し前までは世界有数の医療水準を誇る国だったのにもかかわらず、なぜこのような状況で医療崩壊寸前になったのだろうかを考えてみました。

＊イタリア人の生活習慣は「三密」条件につながっている。

陽気で、明るく、開放的、親しみやすいイタリア人です。挨拶には互いにハグ（抱擁）し、頬にキス、握手するという身体接触の多い日常生活です。また、家族、親戚とのつながりが親密で日々、子どもから高齢者も一緒になって、大きなテーブル



を囲み、笑い、にぎやかに大きな声でおしゃべりしながら長時間のお食事です。また、「家の中でも土足（外靴）のままの家庭が多い」、「マスクはしない」、「ルールをあまり守らない・それぞれ勝手なことをする」という一般的な日常の生活習慣があり、感染拡大につながる多くの要因があると考えられます。

*お祭りは密集、密接につながる

イタリアでは伝統的な宗教的イベントのお祭りが一年を通して多く、世界からの観光客が集まります。一月初めの各地での魔女ベファーナの祝いでにぎやかなクリスマス行事は終わります。一月末からはトスカナ州のヴィアレージョのカニーニバルに一〇〇万人以上、北部のヴェネチアでは二月の初めから二週間、世界中からこのカーニバルに三〇〇万人以上が集まります。イタリア人はお祭り大好きなのです。

*近年のイタリア医療政策

イタリアの高齢化率（六五歳以上の割合）は日本に次いで二位と高齢者の多い社会です。かつて世界有数の医療水準を誇る国と発表されていた

イタリアでしたが、国民の高齢化により年金システムの肥大化、病院数、病床数、医師数の過剰等による医療関係支出削減がいわれ、また、二〇〇七年以降財政危機から病院の集約、効率化と財政赤字と巨額累積赤字を減らすために医療費が標的になった結果、効率化のもとで病院の統廃合、病床数の激減、医師の早期退職と給与削減により医師不足が起きているとOECD（経済協力開発機構）の報告にあります。医学生を減らし、さらに、医師の年齢構成の比較でも五五歳以上の占める割合が五五％と世界で最も高くなっているということなのです。

日本の状況の中で

日本の感染者数、死者数の少なさの不思議は世界でも取り上げられています。PCR検査数の少なさ、感染者数、陽性者数のカウント方法の不徹底、報告ミスをはじめ、二枚のアベノマスクの配布、休業要請、休業補償、生活支援策等政府の対応に国民の過半数以上が悉く批判的です。日本国内でもクラスターが起り、感染者、死亡者が増加。三月

二七日の新規感染者数がピークでした。緊急事態宣言が四月七日に七都府県、一六日に全国に拡大されましたが、外出制限もゆるく、不要不急の外出自粛要請であつて強制はしていません。

こうした状況でほぼ一〇〇％に近い市民がマスクをつけて買い物、散歩等に外出し、バス、電車の中では座席は一人おきに座り、おしゃべりせず、ひととの距離を離して立っています。ひととの接触を避け、距離をとり、外出は避け、窓を開け、換気心がけ、家に籠った生活です。日本人の気質は真面目で、従順なのでしょう。また、山梨大学の「医療維新」の報告に「アジア人はヨーロッパ人よりもずっと新型コロナウイルスに抵抗性があることを確認、遺伝的要因差異によるもの」という研究成果からの指摘もあり、アジア人だけ持つている新型コロナウイルス抵抗性の遺伝的因子はどこに由来するか、今後の研究が期待されます。

新しい生活様式

世界的に蔓延し、地球全体を揺るがしている新型コロナウイルスは

私たちに生活を見直し、現代の人類に対し、あり方、生き方を見直し、考えるようにと大きな問いかけをしているように思えます。今日の生活の中で科学、科学技術が著しく進み、人間中心に便利な、効率のよいものが求められてきました。私たちは人間も自然界の一員であることを忘れていたのではないかと問われています。人間だけが地球にいるのではない！ 今、皆の力で共生、共存できる社会を目指し、小さな地球を守らなければ地球破壊します。

さらに、日々の自国の権力争い、世界的に格差の広がる社会にあつて私たちが地球規模、宇宙規模での共通の倫理観のもとに生きることなしに進めば破滅につながるということです。

自粛を強いられた日々の中から多くを感じ、考えさせられました。私たちの想いはどこに向いているのでしょうか。政府専門家会議からの提言、「新しい生活様式」では人との距離はできるだけ二メートル、最低一メートル。食事は横並びで会話は控えるなどと感染防止のために「日常」を作り直すとして具体的な例、日常生活のスタイルが示されました。こ

れからの新しい「生活様式（ライフスタイル）」の構築には「自然と共存」を考えた生き方に繋がる哲学が欠かせないのではないのでしょうか。



海までの外出許可となり、5月22日、子どもたちは大喜びで飛び出していった

投稿集・コロナ禍

災厄のなかにあっても

憲法九条新聞意見広告

今年もやりました!!

十年目、十回目です

清水女性九条の会・石垣鈴江

静岡県下の「九条の会」など九〇団体、五、〇〇〇人規模で、力をあわせてつくり上げた「改憲に反対する意見広告」が、五月三日、朝日新聞と毎日新聞、静岡全県版に掲載されました。

数えて今年は一〇年目になります。真ん中にかわいい幼子の晴れやかな写真、これはいつも私たちの活動の記録など、いい写真を撮ってくれるカメラマンの、かわいい姪御さんの数ある写真のなかの最高傑作。事務局のみんなが目移りしながら、あれがいい、これがいい、いや断然これだと、かなり迷った挙句の一枚です。そして、紙面に溢れるカラフ

ルなお花と子どものかわいいイラスト、全体のレイアウトは、メンバーのなかの二人の女性のセンスと腕。大見出しで「いま、憲法を変える必要はありますか?」、副題で「戦争しない日本」であり続けられたのは、九条の存在と日本国民の努力の結果です。」

五月三日に掲載するためには、準備に半年。いつも一月から月一回のペースで、東部は、御殿場、函南、沼津から、西部は、浜松、磐田、中部は、静岡、焼津、清水などから事務局スタッフ七、八人が集まって、真ん中に位置する静岡葵区の会議室で準備会を開催しています。

県下で五千人を目標に、賛同金は一人五〇〇円、掲載紙は、購読者数により、朝日新聞と毎日新聞の二紙と、読売新聞とを一年ごと交互に掲載。

掲載日が近づく、大事な広告の表現、「私たちの主張」に関する議事に入るわけですが、これが大変。事務局の面々は、どなたもかつてはバリバリの活動家のみなさん、それは喧々諤々、議論が伯仲、私はいつも「そうですね」「いいね」「その方

「がよいくない？」などと無責任極まりないのですが、なかなか勉強になって、面白いことこの上もなし。

いろいろ議論しても、最終段階で二人の女性が入ると「そんな固い文章、誰も読んでくれないよ」と、これがまた極めつけの決定打!!

この取り組みも始まった二〇一一年は、参加者が県下で三、二五〇人だったのが、年々差し迫ってくる憲



法改悪への意識の高まりで、賛同者は五、〇〇〇人に及んでいます。

広告掲載の後、新聞抜刷りを賛同者に送付するのですが、今年は特別にコロナのせいで各種講演会や集会が中止に追い込まれていますから、私たちの活動が分断されないよう、ネットや手紙でも、強く強く手をつなごう……と書いて送りました。

二冊の本を通して今考えていること

東京 竹内希衣子

オリンピックのあり方を考え直す

この春の日本は東京オリンピック一色になるかと思われていたのに、まさか新型コロナウイルスに世界中が席捲されることになるとは……。

競技場の建設、エンブレムのデザ

インなど、さまざまな問題の出来事に加え、今や「幻の大会」になりかけている昨今は、あらためてこれらのオリンピックのあり方を考え直すよい機会でもあるのかもしれない。

そのための大切な資料ともなる著書「五輪と戦後」が四月に出版され、早速読みました。

一九六四年の東京オリンピックには、二十代の編集者として、いささか仕事の関りがあった私なのに、東洋の魔女たちのバレーボール、円谷幸吉のマラソンなどのテレビ中継に惹き込まれて、なんと単純に一喜一憂していたことか……。

著者は多くの資料をもとに日本の高度経済成長のきつかけにもなっ

たあの東京大会を検証し、これからのオリンピックをどうしてゆくべきか、示唆を試みています。

都心のオリンピックの競技場建設には戦後接収されていた神宮などアメリカの施設の返還地が使われたこと、聖火リレーは日本への返還問題と絡んで当時のライシャワー駐日大使とケネディ大統領などが画策して沖縄からスタートすることになったことなど、日米関係がさまざまなところに影を落としていた事情など「へえ……そうだったのか」と驚くことばかりでした。

商業主義にからめとられたオリンピックを、世界の問題として考え直す必要に迫られている今、新型コロナウイルス問題がそのきつかけとなるとすれば、これはまたとない転機となるでしょう。

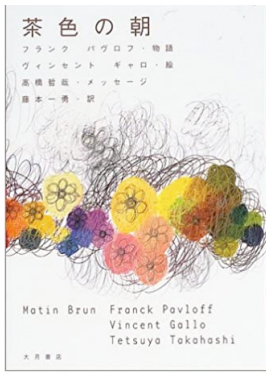


『五輪と戦後 上演としての東京オリンピック』—いかに舞台は整えられ、演出、上演され、再演されてきたか!? 吉見俊哉著、河出書房新社

『茶色い朝』が示唆することは

新型コロナウイルスの対策として緊急非常事態宣言が出されて、外出もままならなくなったこの日々、私がついつい連想してしまうフランスの本があります。

科学者の実験と報告によつて都市生活には茶色もつとも適しているという新しい法律が出来たために、茶色ではない犬や猫を安楽死させなければならなくなった男たちがカフェで嘆く、という短い寓話です。公権力によつてすべてがじわじわと茶色一色に染められ、茶色の服を着た自警団に監視される日々の恐ろしさを語り合う……。



「人間つてやつはのど元過ぎれば熱さを忘れるもの」なのだと、茶色でない犬や猫を殺したこともあきらめて受け入れる。「あまり感傷的になつても仕方がないからね」と妙な感じが残りつつ受けいれてしまう、そんなお話です。

解説によれば茶色はフランスではナチスを連想させる色で、この作品が書かれた一九九八年頃は、ファシズムや全体主義につながる極右政党が躍進した時期でした。この本は大ベストセラーになり極右候補が大統領になるのを阻止することにつながったそうです。

茶色一色の朝を迎えないためには、勇気ある発言をいとわない、おかしいと思つたことに疑問を呈することが大切、と伝えています。

新型コロナウイルスの日々が政治や経済に大きな影響を及ぼし、そこに偏った力が入り込む隙を作らないように、あらゆる情報を自ら判断して受け入れる能力を養うこと。茶色一色に染められないためには日常的な対応を怠らないことが大切なのだと思います。

『茶色の朝』 フランク・パブロフ著、藤本一勇訳、大月書店、二〇〇三年

朝顔を育てる

千葉 伊藤充子

「撫順の朝顔」という朝顔の種を昨年入手し、夏から秋にかけて小ぶりの青いきれいな花を楽しんだ。これは戦犯管理所のあつた撫順を訪れた人が日中友好と平和の誓いの印に持ち帰つた種を周囲に広げていったもの。たぐさんの種が取れたので友人三人に封筒で送つた。そしたら翌日すぐに一人からグループラインで「蒔いたよ」と画像入りで知らせがあつた。私は「えつ、水に浸けずに蒔いたの?」友人は「え? 水に浸けるの?」私はどこで覚えたかは記憶にないがずつとそうやって朝顔を育ててきた。友人のあと一人が直に種を蒔き、もう一人が水に浸けてから蒔いた。二対二、さてどうなるのか。皆さんはどうやって朝顔を植えていますか。



心に残る言葉

NHKBS1スペシャル

「ウイルスVS人類3 スペイン風邪

一〇〇年前の教訓」を観て

村山千津子

今から一〇〇年前、死者は世界で最大一億人とも言われ、日本でも四五万人が命を落としたと推測されるスペイン風邪。現在のコロナ禍に直面している私たちが過去最悪ともいえるこのパンデミックから何を学べるかをテーマにした番組「スペイン風邪 一〇〇年前の教訓」が放映された(五月一二日)。歴史上これまであまり注目されてこなかったスペイン風邪についていろいろと知ることができて示唆に富んでいたが、その中でも特に心に残つたのが、当時この災厄のただなかにいた歌人・与謝野晶子の言葉だ。

「政府はなぜいち早くこの危険を防止するために、大呉服店、学校、興行物、大工場、大展覧会等、多くの人間の密集する場所の一時的休業を命じなかったのでしょうか」「そのくせ警視庁の衛生係は新聞を介し



て、なるべくこの際多人数の集まる場所へ行かぬがよいと警告し、学校医もまた同等の事を子供達に注意しているのです」(『感冒の床から』、一九一八年)と批判していたということを知り、まるで今と同じじゃないかとびつくり。彼女には一人子供がいて、一人が学校で感染したため次々と家族に感染が広がったという。さらに「私は今、この生命の不安な流行病の時節に、何よりも人事を尽して天命を待とうと思います。『人事を尽す』ことが人生の目的でなければなりません。……私達は飽迄(あくまで)も『生』の旗を押立てながら、この不自然な死に対して自己を衛ることに聡明でありたいと思います」(『死の恐怖』、一九二〇年)とも言っていて、その頃東京、横浜だけでも毎日四〇〇人の死者が出ていたという死の脅威の中で、敢然と現実に向かおうとするその強靱な精神に感嘆した。彼女が言うように、今のこの時期、感染症に対して

だけではなく、すべてにおいて、人事を尽くして天命を待つという気構えで過ごしていこうと思った。



シリーズ「南北朝鮮とわたし」3
知ることから始める

ばくふあみ
朴和美著

『自分時間を生きる

―在日の女と家族と仕事―』
 を読んで

三井ふみよ

コロナウイルスのパンデミックがなければ朴和美さんは今頃、ソウルの大学で韓国語を学んでいたはずだ。英語に堪能で、通訳・翻訳のプロフェッショナルとして働いてきた朴さんが七〇歳を過ぎて、「なんで今さら?」と韓国の友人にあきられたながら、語学留学をするにいたった道筋。本書にはここに至る個人史と思索の過程が記されている。

前半(一章「在日朝鮮人一人会」、二章「在日の母語と母国語」)では主に、「在日」の一人の女が日本で生まれ育ち、生きてきた中でぶつかってきた壁、生きがたさについて、何故と問い続け、考え続け、闘い続けてきた半生が語られる。自立・自活を目指しての職業遍歴や留学など、それはとてもユニークでドラマ

チックな、ときにはスリルとユーモアの混在する物語だ。

著者が闘ったきたもの、それは女が個人として存在し生きることが認めない家族という縛り、女が自立した市民として生活し発言し主張することを抑圧する社会。その社会とは「家父長的家族」を最小単位として形成される差別社会でもあり、さらにその外側に日本の在日差別社会が囲む。著者はこれを入れ子になった差別構造という。この構造の中で、一体いかにして、在日の女は個として自由に人生を生きることが出来るのか。著者は「在日社会」の抱える問題をジェンダーという視点から取り組み、深く考え続けてきている。そうしてたどりついた「ディアスポラ」であることの肯定。

金石範氏が本書の帯に記す著者の「しなやかで水晶のような文体」は、個々の日本人の、そして日本社会の抱える問題をも照射しつきつけているように私には感じられた。

この日本社会で、日本人である私も、女性差別を経験してきたし、家族というものの嫌悪、母親との葛藤など似たような経験もある。ただ、

似ている以上に違いは大きい。なぜなら著者が語っているのは在日社会における女性差別の問題であり、その外側を囲う日本社会の問題は私たちの問題だからだ。語られる個人的体験は、私の目に否応なく日本社会の有り様を映し出す。私はこの本を通して、あなた方はどうなの、どう考えるのと鋭く追及されているように感じる。

「南北朝鮮とわたし」というテーマに対して、まずは自分のいるところから私も考えたい。侵略者としての、加害者としての歴史と向き合い、どう取り組んでいくのかという課題を背負った国の人間として、まず知ることから始めたい。そして朝鮮半島とのつながりを紡ぎたい、と改めて思う。

本書の後半（三章「旅のつれづれに」、四章「映画をめぐる旅」）に読み進むにつれて、著者の肩の力が次第に抜けていくのが感じ取れる。闘い続け、思考力を鍛え続けてきた著者はいま、「自分時間」をのびのびと自在に生きているように見える。

一時中断となったが韓国語を知る旅を終えた朴和美さんの次の物語を楽しみにしたい。



朴和美著『「自分時間」を生きる』
三一書房、2020年

★投稿募集！

コロナ禍のなか、パソコンや携帯で人との繋がりを保ち、発展させようという試みが目を見張る勢いでひろがっています。ただし、それは電子通信機器を苦勞なく扱える人たちの間でのこと。私たちの会では「かわらばん」への投稿でゆるく繋がるころみをしたいと思います。

本や映画の感想、参加したりYouTubeで視聴した講座、講演会、その他テレビ番組などについての紹介や感想、批評、政治批判、身辺雑記など何でもお寄せください。筆名は仮名・筆名・本名のどれでも可。できたら年代も付記してください。

宛先

メール：1pyodekaeru@gmail.com

郵便：〒162-0823

ファックス：03-5684-1412

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター

メールボックスNo. 45

「一票で変える女たちの会」

かわらばん係



「一票で変える女たちの会」かわら版
*印刷版をご希望の方は左記FAX、
メール、ホームページの問合せ欄から
ご連絡ください。

メール：1pyodekaeru@gmail.com
ファックス：03-5684-1412
<https://1pyo-de-kaeru.com>

☆カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひ
カンパを寄せていただきたく、お願い
いたします！

郵便振替口座：

記号番号 00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会
イッピョウデカエルオンナタチノカイ

銀行等から振り込む場合：

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキユウ)

店 (019)

預金種目 当座

口座番号 0420003





-----FBから-----

新聞、テレビなどでは扱われなかったり、小さくしか載らない大事な情報が、フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどのSNSで迅速にかつ詳しく伝わってくる。中に混じってくるフェイクや裏付けのない情報ははねのけて、しっかり世界で起きている出来事に目を向けていきたい。メディアでは新型コロナのニュースに覆われた感があるが、そのほかにも大きな問題が進行している。会のFBから抜粋して紹介。

FB投稿日（逆順）

6/5 警官の暴力に対する抗議。日本でも選挙演説中にヤジを飛ばした男性がむりやり警官に排除された。50歩100歩。

米国デモ、世界で共鳴 「正義なければ平和ない」（朝日新聞 6月5日）

<https://www.asahi.com/articles/DA3S14502041.html?fbclid=IwAR2MD9osDikJMXARUQ7wFw6G0NHQTm0LSuGP77-yPvfxbDhBNoHLFGcQBnY>

6/5 **中国の全国人民代表大会が、香港で反体制的な言動を取り締まる「国家安全法制」の導入に関する決定を採択。**

香港の民主化運動が危機に瀕している。天安門事件31年 香港、追悼すらできず（毎日新聞 6月4日）

https://mainichi.jp/articles/20200604/ddm/012/030/097000c?fbclid=IwAR0JHH38VpAKoBcnz_vNtX5ms5VL4VNEVtIc5IsPmzwDodG-bJyRMFCJvyE

6/4 **世界中が禁止するラウンドアップ 余剰分が日本市場で溢れかえる**（長周新聞 5月23日）

毎年5月には「反モンサント・デー」（現在は「反バイエル・モンサントデー」）と称して、世界中の農民や労働者など広範な人々が一斉に抗議行動をおこなっている。今年も18日にフランスやスイス、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリアなど数百の都市で一斉にデモ行進をおこなった。行動の主眼はモンサントが開発したラウンドアップを含む除草剤への抗議だ。ラウンドアップの発がん性や遺伝子への影響が問題……抗議行動の高まりのなかで世界各国ではラウンドアップの使用禁止や販売中止、輸入禁止が主な流れになっている。ところがそれに逆行して日本では内閣府食品安全委員会が「ラウンドアップは安全」と承認し、農協が使用を推奨し、ホームセンターなどでも販売合戦に拍車がかかっている……<https://www.chosyu-journal.jp/shakai/11791?fbclid=IwAR2sw7yj-tVyFX2zJvropyHwLltCrNWejLEcSfKlmAGAAHb07w4Ave3qVo4>

6/4 インスティゲイターという言葉初めて知りました。白人右翼が暴動を作り出し、正当な抗議を阻害しています。

警官の暴力への抗議デモが全米に広がる（Okinawa Seaside Laboratory @okislab 在ミネソタ 6月1日）

今、ミネアポリスが燃えています。まるで戦場のようになっていました。街の至る場所で店が燃え、暴徒鎮圧のための戦車が住宅街を走り、市民に対して平気で発砲する警官隊が闊歩しています……今回の暴動には多くのインスティゲイターが関与している事も重要です。インスティゲイターとは、デモ参加者を暴徒化させるために、部外者がデモ参加者を装い店舗等を破壊し暴徒化を煽る人達のこと……加えて、コロナ不況で職を失い将来に対する不安感やフラストレーションが、差別問題によって一気に爆発したのでしょうか。これは、人種というよりは経済格差の問題……

5/31 **狂気的な数億のイナゴの大発生による被害範囲がアフリカ、中東から中国までの20カ国以上に拡大。**

国連は6月までにイナゴの数が「現在の500倍に膨れあがる可能性」を警告（北川高嗣筑波大学教授のツイッター - 5月30日）

5/30 **STOP! 安倍改憲発議 総がかり行動 緊急署名街頭宣伝**（sogakari.com 5月29日）

【拡散希望】署名活動未経験の方、スタンディング、チラシ配り等も挑戦大歓迎！『STOP. 安倍改憲発議 総がかり行動 緊急署名街頭宣伝』6/11(木) ★ 18:00 ~新宿駅西口 小田急百貨店前
https://twitter.com/48daisyukai/with_replies

5/29 **「正義連」と尹美香前理事長をめぐる攻撃が苛烈化する中、挺対協発足とその後の活動に携わっていた先輩たちが声明を発表。**当時の厳しい運動状況が思い起こさせられた。（方清子さんのFB 5月29日）

<https://www.facebook.com/chungja.bang/posts/3483484698332442>

5/27 **コロナ封じ込め成功は国民の「自粛努力」の結果という“美しい嘘”**（山田順、YAHOO ニュース 5月27日）

<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamadajun/20200527-00180607/?fbclid=IwAR2UmX-hQXfxgYoZG4kV4vyCQqySdRWp6S87pAVScuIo9ajviXfPdHwKxvo>

5/27 カナダでは…… **「スーパーシティ カナダで中止」**（<https://note.com/> 5月19日）

コロナ禍に人びとの注意が集まる陰で、スーパーシティ法案（国家戦略特区法改定案）が審議不十分のまま自民・公明・維新の賛成多数で国会を通過。一方、「これまで政府が先進モデルとしてきたカナダ・トロントでの「スマ

ートシティ開発」は住民が猛反発し、事業主体のグーグル系企業がプロジェクト撤退を表明した。」「カナダのスマートフォンメーカー・ブラックベリーの前CEOであるジム・バルシリー氏もサイドウォーク・ラボのとりくみについて「監視資本主義の植民地化実験」と指摘している。」とのこと。

5/24 **We Need Culture –文化芸術復興基金をつくろうー 演劇は生きる力です。**(weneedculture.org/ 5月24日)
演劇の灯を絶やさないために、演劇の未来のために 緊急支援を！演劇を愛するすべての人々の賛同署名を。
<http://engekikinkyushien.info/> 5月22日に「要望書」を、25,684筆の個人署名および360の団体賛同とともに関係省庁に提出……「文化芸術復興基金」の創設と次のアクションのために、署名自体は続けて受け付けてまいります。引き続き、ご支援よろしくお願いたします。<https://www.change.org>

5/24 種苗法改定案は先送りされたが、スーパーシティ法案は可決。国会ではコロナ禍の陰で次から次へと危険な法案が野党の反対を押し切って通っている。まさにショックドクトリン(惨事便乗型資本主義)。

与党急ぐスーパーシティ法案 規制緩和だけではない問題。……「スーパーシティ構想」とは、住民や企業などから集めた様々な分野の情報を「データ連携基盤」(都市OS)に集約し、AIなどの最先端技術で連結させ、サービスにつなげるもの。政府は「まるごと未来都市」とうたっている。……野党は個人情報の管理や住民の合意のあり方などあいまいな点が残る。新型コロナウイルス対応が急がれるなか、「不要不急」の法案」と批判……(朝日新聞 5月21日)

5/23 **大竹しのぶ まあいかに267「なぜ今、なぜあなたが」**(朝日新聞 5月23日)
コロナ禍で夏の高校野球の中止が決まったその日、検察庁の黒川検事長が賭け麻雀をしていたことについて書かれたエッセイ。「僕は、大竹さんのこの記事を支持します」と金平 茂紀さんがFBに。
<https://www.asahi.com/articles/DA3S14486051.html>

5/20 **小池百合子さん、差別をやめて関東大震災で虐殺された朝鮮人の追悼式典に横網町公園を使わせてください！**
三万人が署名。6月11日に提出(change.org) 昨年9月以降、都は追悼式典の実行委員会による横網町公園の占有許可申請の受理を、3回にわたって拒否……実行委員会の声明は、https://blog.goo.ne.jp/nicchokyokai-honbu/e/f5b46a21aacefcb2fd39a84ba450fa1a?fm=entry_awp

5/20 **世界の女性元首たちがコロナ禍対策で活躍** The Pandemic Has Revealed the Weakness of Strongmen
— Women leaders are a symptom of a political system's success, not necessarily its cause. The Atlantic) 5月6日 https://www.theatlantic.com/international/archive/2020/05/new-zealand-germany-women-leadership-strongmen-coronavirus/611161/?utm_campaign=the-atlantic&utm_medium=social&utm_source=facebook&fbclid=IwAR09otlHCZhiNvlaPOCTAwGoPXtTH1KJh14wutV9KesM429NPDTayPAbvdk

5/20 **新型コロナと戦う その先の世界へ** 「コロナと闘う戦略図～見えてきたウイルスの正体と闘い方」児玉龍彦、金子勝。(デモクラシータイムス 5月16日) https://www.youtube.com/watch?v=8crwEQN_DbA&feature=youtu.be&fbclid=IwAR2COzrCqHOADfxFxr_cb6u7r0_e0ncqcnEpz1g3jn5USyYyKwMj6rWnsgE

5/19 琉球新報号外。**元海兵隊委員を逮捕** 北部で女性遺体 うるま女性不明 県警、遺棄容疑(5月19日)

5/18 **検察庁法改正案、今国会での成立断念 世論の反発配慮**(日経新聞 5月19日)
政府・与党は18日、検察官の定年を引き上げる検察庁法改正案の今国会での成立を断念した。野党や世論が同法案への反発を強め、採決を急げば政権運営に悪影響を与えかねないと判断した。今国会は継続審議とし、秋にも開く臨時国会での審議をめざす……

5/16 **元検察トップら、反対意見書を法務省に提出**(朝日新聞デジタル) 5月15日
松尾邦弘・元検事総長ら検察OBが、政府の判断で検察幹部の定年延長を可能にする検察庁法改正案に反対する意見書を法務省に提出。定年延長を認める規定の撤回を求めました。
意見書全文は、https://www.asahi.com/articles/ASN5H4RTHN5HUTIL027.html?iref=pc_extlink

5/14 **TEMPORARY-SINEMA.JP 仮設の映画館にてデジタル配信。**
坂上香監督「プリズン・サークル」全国一斉、2020年5月16日(土) 10:00 — 終了日未定
<https://temporary-cinema.jp/>

5/14 種苗法改正案に、抗議します。(加藤登紀子さんが Tweet 5月12日)
種苗法の改正は、企業や個人が独自に交配し特異な形質が確認された登録品種の自家増殖を原則禁止する法案。

知的財産の海外流出を食い止めるためと言われるが、実態は自国の農民の採種権利の一部を奪う法案……

5/14 怖い。こんなあからさまなことができるんですね。

泉田裕彦さん (@IzumidaHirohiko) Twitter から抜粋) 私、国家公務員法等改正案を審議している衆議院内閣委員です……検察庁法の改正案は争点があり国民のコンセンサスは形成されていません。国会は言論の府であり審議を尽くすことが重要であり強行採決は自殺行為です。与党の理事に強行採決なら退席する旨伝えました(5月13日)。「強行採決をすべきでない。」との声が届くのかわかりませんが、内閣委員をはずされることになりました(5月13日)。検察庁法成立見送りです。……今回、twitterのインプレッションが630万超え。地元からや、党派・地域を超えた声の大きなうねりを感じました……(5月18日)

5/12「潰す」「干される」検察庁法改正反対の著名人への中傷続々(『女性自身』の記事。YAHOO ニュース 5月11日)……5月9日にはTwitter上で「#検察庁法改正案に抗議します」というタグが生まれ、たちまち拡散。タレント、漫画家、ミュージシャンなど様々な著名人にも広がりを見せ、同タグは500万件以上(5月11日15時時点)も呟かれる事態に……

5/11 #検察庁法改正案に抗議します ツイートした著名人(日刊スポーツ) 5月10日

内閣が検察幹部の役職定年を延長できるようにする検察庁法改正案に対し、SNSのツイッター上で9日から抗議のツイートが相次ぎ、10日午後時点で380万を超えた……一般の人々に加え、俳優、作家、映画監督、漫画家、ミュージシャンら各界著名人も「#検察庁法改正案に抗議します」というハッシュタグをつけて続々投稿。前例のない大規模ネットデモの様相となった。https://www.nikkansports.com/general/nikkan/news/202005100000650.html?fbclid=IwAR0HP4j8MYoaWc_fmIhdhB3paJkUtAt6ahwCTvnSEV5wG6Tfywvx5aJ3j3U

5/7「日本における外国人・民族的マイノリティ人権白書」

2020年版の発刊。(外国人権法連絡会:「外国人・民族的マイノリティ人権基本法」と「人種差別撤廃法」の制定を求める連絡会 5月7日) 2020年版 購入お申込みフォーム <https://gjhr.net/hakusho/hakusho2020/application/>

5/7 鬼パン 20万回再生のオペラ歌手がアベノマスクを熱唱! 23万回再生済み!

(Twitter.com 追川礼章 @RunrunToshi) 歌: 黒田祐貴 @risaia_nera ピアノ: 追川礼章 @RunrunToshi

5/4「全国一律のステイホームは日本を滅ぼす」児玉龍彦・東大名誉教授がぶった切る緊急事態宣言 5月末まで延期

(AERAの記事 Microsoft News 5月4日) <https://www.msn.com/ja-jp/news/coronavirus/>

5/4 当たり前でしょう。

「イージス・アショア」秋田市の候補地を事実上断念 防衛省(NHK) 5月6日

「イージス・アショア」の配備をめぐり、防衛省は候補地としていた秋田市内にある自衛隊演習場について、住宅地に近すぎることや地元の反対が根強いことも踏まえ配備を事実上断念し、新たな候補地を秋田県内を中心に検討する方針を固めました……

5/5 国連の勧告「年間1ミリシーベルト以上の被ばくは許されない」を無視する日本政府

原発事故から9年、福島で増えている病気(HoKNet: 放射能から子どもを守る企業と市民のネットワーク 3月11日) <http://hokinet.jp/>

5/4【緊急募金のお願い】コロナ危機を乗り越えるために。臨時休館中の丸木美術館を支援してください。

原爆の図丸木美術館は、開館当初から多くの市民の力に支えられて歴史をつないできました。しかし今、これまでになかった危機に直面しています。新型コロナウイルスの影響により2020年4月9日より臨時休館せざるをえなくなり、再開の見通しがつかない状況が続いています。この危機を乗り越え、ここにすれば「原爆の図」が見られる場所として存続し続けるために、みなさまのご支援をお願いいたします!

<https://marukigallery.jp/support/>

5/3 今年国会前からネット配信「平和といのちと人権を! 5.3 憲法集会2020」(安倍九条改憲 NO! 全国市民アクション 5月3日) 発言者は、堀潤さん(ジャーナリスト) 古今亭菊千代さん(噺家・真打) 浅倉むつ子さん(法学者、安全保障関連法案に反対する学者の会) 稲正樹さん(憲法学者)ら。 <http://kaikenno.com/?p=1339&fbclid=IwAR0VTvrrZ71QmBVWCF420FFtIKukyBCEh3bIndsprL0UyeI1BML1J2i2Ng>

5/2 非常事態下の日本 / 3 「コロナ危機」と「ファシズム体制」「人間性喪失」の社会を拒むために=保阪正康(サンデー毎日) 5月1日新型コロナウイルスが猛威をふるう今、私たちは感染爆発にいかに対峙し、現状を乗り越

えるべきなのか。現代史研究の第一人者が、歴史の記憶の中に現在への処方箋をさぐる特別寄稿。最終回
<https://mainichi.jp/sunday/articles/20200428/org/00m/010/003000d?fbclid=IwAR3TjKd-RcuWoogcs2Wm5CsXXCxZ-e5a1Vdd7XhXsztFKxCt2HCOhooLkpA>

- 5/1 **フラワーデモから1年 いま考える新型コロナとジェンダー**（生放送！とことん共産党。YouTube 4月28日配信）
ゲスト 北原みのりさん（作家・フラワーデモ呼びかけ人） MC・司会 小池晃書記局長、朝岡晶子さん
https://www.youtube.com/watch?v=VxUaYkIZY3g&feature=youtu.be&fbclid=IwAR2_VSj0xc0QMqNO_Ri2ObhG9TgIYzlf9HHhsbJmouRO7Kx58KMLi3d3IXE

- 5/1 **放射能汚染水を海に流さないで**（GREENPEACEの署名活動 5月1日）
小野春雄さんは、福島県新地町で3代目の漁師。海を守るために、原発事故の放射能汚染水を太平洋に放出しようとする政府に、反対の声を上げ続けています。現在、東京電力福島第一原子力発電所には、100万トンを超える放射能汚染水が保管され、今この瞬間も増え続けています。2月に、国の小委員会が、放射能汚染水の海洋放出案を提言としてまとめました。これを受けて国が開いた「ご意見を伺う場」では、福島県漁業協同組合連合会が、海がはぐくむ魚をとってなりわいを未来につなげたいと訴えました……
https://act.greenpeace.org/page/59529/petition/1?locale=ja-JP&fbclid=IwAR2nzdp0V7imlCre-L3m6MYK8iS1u_PPkCfGACmIEF9C7WH2Q-sZ_xKD0Wk

- 4/30 **女性軽視発言をした岡村隆史氏に対しNHK「チコちゃんに叱られる」の降板及び謝罪を求める署名活動**
「ナインティナイン」の岡村隆史氏が、「コロナウイルスの影響で風俗にいけない」という問い合わせに対して「コロナが収束したら絶対面白いことあるんですよ。コロナが明けたらなかなかの可愛い人が、短期間ですけれども美人さんがお嬢やります。これ何でかって言うたら、短時間でお金を稼がないと苦しいですから」と発言したことへの抗議に22,620人の賛同者。（Chenge.org.4月30日）

- 4/28 **赤木さんを勇気づける世論調査 自民支持者も「再調査せず」を“許さない”**（相澤冬樹記者 YAHOO ニュース 4月28日）
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20200426-000000003-withnews-soci&p=1>
調査を行ったのは朝日新聞。朝日の記者が書いた記事によると、4月18、19日の両日、RDD方式という電話調査で全国の有権者を対象に調査し、2200余人から有効回答を得た。赤木昌子さんが求めている公文書改ざんについての再調査について、以下の結果になったという。
・再調査すべきだ＝全体（72%）／自民支持層（59%）・その必要はない＝全体（17%）／自民支持層（29%）

- 4/28 <社説> **4・28「屈辱の日」 自己決定権の確立急務だ**（琉球新報 4月28日）
68年前のきょう、日本が独立した一方で、沖縄、奄美、小笠原は切り離された。日本の独立と引き換えに沖縄を米国に差し出した「屈辱の日」である。/ 1952年4月28日発効のサンフランシスコ講和条約第3条が分離の根拠となった。これにより米国は日本の同意の下で、他国に介入されることなく軍事基地を自由に使うようになった。米軍は「銃剣とブルドーザー」で農地を奪うなど、沖縄住民の基本的な人権を無視した統治を敷いた……
<https://ryukyushimpo.jp/editorial/entry-1114148.html?fbclid=IwAR0CHdIMofib4NqYfWB1FozashTukxmAjDsREnmZbOXxtv6PNKaQTBBy95zQ>

- 4/23 韓国のコロナ対応が的確に説明されています。
康京和（カン・ギョンファ）外交部長官は13日、フランスの国際ニュース専門チャンネルであるフランス24とのインタビューを受けました。……韓国はなぜ他の国々とは違った対応ができたのか、国民の自由を尊重しながら感染症との戦いをしてきたのかを述べました……（F B 日本メディアが伝えない週刊韓国ニュース 4月17日）
<https://www.facebook.com/subtitleofkoreannews/videos/2540617396254687/>

- 4/22 **学生の13人に1人が退学検討 - コロナで生活厳しく、団体調査**（共同通信 4月22日）
新型コロナ感染拡大に関する学生団体の調査で、大学生らの約6割がアルバイト収入が減ったり、なくなったりしたと回答したことが22日、分かった。親の収入がなくなった、または減ったと答えた学生も約4割に上り、調査に答えた学生の13人に1人が、大学を辞める検討を始めていると回答するなど、多くの学生が経済的に厳しい状況にあることが浮かんできた…… <https://www.47news.jp/>

- 4/22 [社説] **「国民の安全」が「本当の安保」、国防費を削減した補正予算は正しい**（ハンギョレ新聞 4月18日）
政府が16日に国会に提出した第2次補正予算によると、7兆6千億ウォン（約6700億円）規模の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）緊急災害支援金の財源を用意するために、今年の国防予算50兆2千億ウォン（約4兆4000億円）から9047億ウォン（約800億円）を削減することにした。F35A戦闘機や海上作戦ヘリなど外国製武器の購買予算の中から契約や試験運営が遅延している事業の支出を主に減らす方針だ……

<http://japan.hani.co.kr/arti/opinion/36376>.

4/22 国の変更申請「断じて容認できない」 辺野古新基地で玉城デニー知事（琉球新報）4月21日
<https://ryukyushimpo.jp/news/>

4/21 <速報> 許せない！ 沖縄防衛局が今朝（21日）辺野古の設計概要変更申請を提出した。

……コロナ禍で全国に緊急事態宣言が出され、防衛省本省職員や辺野古の工事に従事していた作業員さんにも感染者が発生した。……県の全職員がコロナ問題で不眠不休の努力を続けているその真っ最中に、設計概要変更申請提出を強行したのだ。県民の命と暮らしが脅かされているというのに、何故、今、設計概要変更申請か？……（チヨイさんの沖縄日記 辺野古や高江の問題等に関する日々の備忘録）4月21日
<https://blog.goo.ne.jp/chuy/>